

山陰の、こんな美しいふるさとを守りたい！

2026

eco's 通信

vol.386



ゆったかこたつで巡る

冬の「堀川遊覧船」

冬の松江を楽しむなら、冬季限定の「こたつ船」に乗れる堀川遊覧船がおすすめです。全長約8m・幅約2mの屋根付き小船で、約50分かけてお堀をぐるっと巡ります。凍えそうな冬でも暖かく過ごせるよう、豆炭を使ったやぐらこたつが設置され、雪景色を眺めながらのひとときは格別です。今シーズンは2025年12月から2026年3月まで運航されます。

船からは武家屋敷や塩見縄手の老松など城下町の風情を楽しめます。晴れた日には、日向ぼっこをする亀や鷺など、お堀に住む生き物に出会えることもあります。航路には17の橋が架かり、最も低い橋をくぐるときには屋根がぐっと下がり、すれすれの隙間を抜けるスリルも味わえます。船頭さんの案内や民謡の披露も魅力のひとつ。こたつ船に揺られながら過ごす時間は、冬の松江の思い出になるでしょう。



こんな活動をしています！

無事故無災害を祈願

毎年、社員一同で長浜神社へ参拝し、事故や災害のない一年を祈願するのが恒例となっております。安全はすべての事業活動の基盤であり、社会の変化に揺るがぬ信頼を築くための第一歩と考えております。本年も作業の基本を忠実に実行して「安心・安全」を最優先に、無事故・無災害に努めてまいります。

今年も安心・安全を第一に



写真は昨年の様子です

料金後納郵便

eco's
通信

新年ご挨拶

ひのえうま
丙午

皆さまにおかれましては

二〇二六年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

今年は「丙午」（ひのえうま）にあたり、六十年に一度巡ってくる稀有な干支とされています。「丙」は太陽や炎を表し、明るさや情熱、勢いを象徴します。一方で「午」は盛夏の火に例えられ、活発さ・行動力・スピードを象徴するといわれています。いずれも「火」の性質を持つことから、燃え盛るようなエネルギーが重なる年とされています。

本年が、皆さまにとって勢いとエネルギーに満ちた実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

私ども従業員一同も、さらなるサービス向上に努めてまいります。

代表取締役社長 安原 幸治

島根・鳥取を中心に循環型地域社会の創造を
再生燃料油開発・廃油処理などの分野で目指します。



山陰興業株式会社
SAN IN KOGYO

〒699-0822 島根県出雲市神西沖町2487-5
TEL:0853-43-0159 FAX:0853-43-0147
<http://www.e-skk.co.jp/>

